



五十嵐 健一郎 議員

地域経済活性化の 未来創造について

地域経済活性化の 未来創造について

質問

地域経済活性化に関して次の点について伺う。
・産業支援の成果の検証及び地域経済波及分析について

- ・未来を見据えた地域産業の持続的成長への支援について
- ・異産業の新しい組合せによる産業創造の促進について
- ・ジオパークを活かしたまちづくりの価値創造について
- ・地域経済活性化プログラム の策定について



古川 昇 議員

第5期介護保険 事業計画について

第5期介護保険 事業計画について

質問

介護保険料は、制度発足時から大幅な増額となっており、今日の経済状況、消費税率の引上げ等を考えたとき、

今回の増額は簡単に納得できるものではない。介護保険料基準額の市民説明の内容等について伺う。
また、病気や介護にかからずに長く過ごすことが介護保険制度維持の力ギであると考え、地域ケアシステムの展開と体制について伺う。

市長答弁

産業支援については、総合計画後期基本計画における5年後の目標指標を設定しているほか、企業立地件数等を参考に成果を検証している。また、地域経済波及効果分析については、経済関係の統計や地域商工団体の景況調査、税収などを参考に分析している。

地域産業への支援については、多くの市内企業は常に多様な経営課題に直面しており、企業訪問を通じて各企業の経営課題を把握し、さまざまな企業支援機関との情報交換等を行い、企業支援のコーディネート

市長答弁

介護保険料については、月額基準額を5860円とする条例改正案を本定例会で提案した。既に各地域審議会等で説明したが、介護度の上昇と介護サービス利用者の増加により、保険料の引上げは避けられない中で、低所得世帯の保険料を抑えるため、高額所得世帯に対する保険料の引上げ幅が大きくなることなどを説明しているところである。

地域ケアシステムの展開と体制については、市、介護事業者、医療機関、その他関係機関が連携しながら、高齢者が地

ネット役を果たすよう努めている。

異産業の新しい組合せによる産業創造の促進については、異業種交流会や技術展示会の開催、新分野への進出や産業間連携に結び付く契機となっていることから、市も異業種連携の促進を図っている。平成24年度には、幅広い産業間連携を促進するため、新規事業により「農商工連携」を推進していくこととしている。

ジオパークについては、その視点から魅力的な素材の発掘や活用を、地域の熱意のもとで進めていくことが、まちづくり

域で住み続けられるよう、地域包括支援センターの体制の充実を図っていく。

糸魚川市における メンタルヘルス事業について

質問

近年、大企業を中心にメンタルヘルスの取り組みが進んでいるが、一般的には講演、研修といった段階ではないかと推測される。メンタルヘルスに対する現状認識や、県・市・企業団体との連携等について伺う。

の価値を高めることにつながるものと考えている。

地域経済活性化プログラムについては、その策定は考えていない。産業分野の事業展開や技術革新が急速に進展していることから、国・県の最新の産業施策を注視しつつ、当市の総合計画後期基本計画を基本方針として、市内の企業動向に応じて迅速に対応することとしている。



市長答弁

保健所、事業所、医療団体及び行政機関などが連携し、対策の検討や情報交換をしている。企業におけるメンタルヘルスの取り組みも多くなっていることから、重要性が認識されてきているものと捉えている。

